

ヤナ・ボウシュコヴァー ハープ

ムスティスラフ・ロストロポーヴィッチ氏は、ラジオでヤナ・ボウシュコヴァーの演奏を聴いた後、彼女に連絡を取るよう彼自身が依頼しました。彼は直ぐに、フランスで開催されるエヴィアン・フェスティバルにおいて、ラヴィ・シャンカル作チェロとハープのためのソナタの初演の共演者に彼女を選びました。また、アメリカの大変有名なハープ教授であるスーザン・マクドナルド氏は、彼女のことを今世紀を代表する才能の持ち主と評しました。多くの海外の評判でも、彼女の才能は似たような言葉で表現されています。

ヤナ・ボウシュコヴァーは、実に素晴らしい芸術の功績を誇っています。それはつまり、とても人気のハープ奏者になり、また世界の有名なコンサートにおける常連の特別出演者（ソリストとして、またムスティスラフ・ロストロポーヴィッチ、ユーリ・バシュメット、パトリック・ガロワ、マキシム・ヴェンゲーロフ、イジー・バルタ、ジャンヌ・トムセン、シャロン・カム、クリスティアン・テツラフ、グスタフ・リヴィニウスなどの共演者として）になった実績です。

ソロ活動に加え、ブリュッセル王立音楽院、プラハ芸術アカデミー、プラハ音楽院の三つの学校の講師も務めています。また2005年から、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席ハーピストの座に就いています。

ヤナ・ボウシュコヴァーは、プラハ音楽院で学んだ後、オストラヴァ大学のリブセ・ヴァハロヴァ教授のクラスで指導を受けました。その後、フルブライト奨学金を得て、アメリカの名高いインディアナ大学のスーザン・マクドナルド教授の下で勉学の機会を得ました。ヤナ・ボウシュコヴァーは、世界で最も権威のある数々のコンクールで最優秀賞に輝いた、チェコ唯一のハープ奏者です。USA国際ハープコンクール優勝、イスラエル国際ハープコンクール第2位などがその例です。また、1989年フルート奏者のジャンヌ・トムセンとの二重奏で、パリ室内楽コンクールで優勝したことをはじめ、他にも数多くの受賞歴があります。イタリアで開催される国際音楽トーナメントの1999年大会の優勝者でもあります。非常に優れたコンサートの功績やハープ演奏の発展への貢献によって、1999年にスイスのハーパ賞を受賞したに加え、フランスのユベントス・フェスティバルでも受賞しました。チェコにおいて、彼女は1996年度のタレント・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。またチェコ音楽を広め、チェコの演奏解釈法を国際舞台で代表して上演した功績を評価され、2002年にはチェコ音楽評議会賞に選ばれました。ヤナ・ボウシュコヴァーは、チェコ共和国の最も優れた女性10人の1人として、2004年の秋にプラハ城のスペインホールで、クラウス大統領列席の下、女性プロフェッショナル賞を受賞した史上初のクラシック音楽演奏家です。

ボウシュコヴァー氏は、定期的に国内外の一流のコンサートやフェスティバルに出演しています。彼女の最も優れた功績は、ニューヨークにあるリンカーンセンターのアリス・トゥリー・ホール、パリ・シャトレ座、プラハ春音楽祭、ベルリン・フェスタターゲにおけるソロリサイタル、ユーリ・バシュメット誕生50周年を祝うモスクワでのガラコンサートへの出演が挙げられます。さらに、バイオリン奏者マキシム・ヴェンゲーロフと合同の、イスラエルやヨーロッパでの大規模な巡回公演、ドイツのシュバヌゲン・フェスティバル、オンタリオのパーリサウンド、フランスのユベントス・フェスティバル、エルバ・ヨーロッパの音楽の島における、多くの素晴らしいアーティストとの室内楽の分野での活躍、テアトル・ド・ラ・ヴィールにおける、フルート奏者エマニュエル・バユ、マチュー・デュフォーやハープ奏者マリー・ピエール・ラングラメとの合同演奏、そして、フルート奏者パトリック・ガロワとの大規模なドイツ巡回公演もあります。オーケストラのソリストとして（とりわけチェコ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ・フィルハーモニア、シカゴ・シンフォニエッタ、アムステルダム・シンフォニエッタ、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、MDR交響楽団、東京室内管弦楽団の中で）彼女は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団やケルン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートホール、東京のサントリーホール、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス、シカゴのシンフォニーセンター、アムステルダムのコンセルトヘボウ、プラハのルドルフィヌム、その他多くの会場で演奏しています。

ヤナ・ボウシュコヴァーは、国際ハープ会議やシンポジウムに定期的に招待されたり、世界各地の数多くのマスタークラスで教えるよう招請を受けたりしています。また、2004年にアメリカの国際ハープコンテスト、フランスのリリー・ラスキーヌハープコンテストの、2006年にはイスラエルの国際ハープコンテストの審査員になりました。1999年には、プラハで開催された第7回国際ハープ会議の芸術監督に選ばれました。さらに、2000年からプラハ芸術アカデミーの、今年からチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の芸術委員会メンバーにもなりました。2002年には、アメリカのインディアナ大学で2か月講義をするよう招請されました。今年は、ジュネーブ州立高等音楽院で3か月教鞭をとりました。

ヤナ・ボウシュコヴァーは、チェコや国際レーベルで20枚を超えるCDや、ラジオやテレビ局向けに複数の音楽プログラムを作りました。彼女の広範囲にわたるレパートリーは、あらゆる様式、時代の作品を網羅しています。多くの現代作曲家が、彼らの新しい作品を彼女に提供してきました。ワールドプレミアで演奏した演目には、フランスで開催されたエヴィアン・フェスティバルにおいてムスティスラフ・ロストロポーヴィッチと共演した、ラヴィ・シャンカル作チェロとハープのためのソナタの他に、バイオリン奏者マキシム・ヴェンゲーロフやその他の共演者と演奏した、ベンヤミン・ユスポフ作フルート、バイオリン、ヴィオラ、ハープそしてオーケストラのための協奏曲、1999年プラハで開催された第7回国際ハープフェスティ

バルでイザベル・モレットティと共演した、ヤン・F・フィッセル作 2 台のハーブのための協奏曲、ドイツのキールで演奏された、クリシュトフ・マジヤトカ作ハーブソロのための協奏曲「ブラハルフォナ」、ルーカス・ソマー作ハーブ協奏曲、エミル・ヴィクリッキー作フルートとハーブのためのジャズ協奏曲、その他多くのソロ、室内楽があります。

ボウシュコヴァー氏が演奏しているハーブは、1992 年にアメリカで開催された国際ハーブコンテストで優勝賞品として贈呈されたアメリカのライオン&ヒーリー社製のハーブです。